

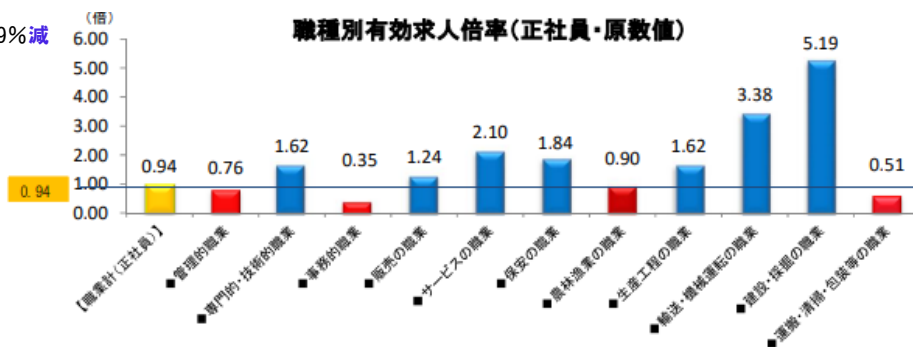
奈良県の有効求人倍率【最新版】

令和6年9月の奈良県の有効求人倍率（季節調整値）は **1.15倍** 前月より**0.01ポイント**上昇

【産業別新規求人状況】

- ・宿泊業、飲食サービス業は438人で、前年同月と比べて、**16.9%減**
- ・卸売業、小売業は695人で、前年同月と比べて、**5.9%増**
- ・運輸業、郵便業は445人で、前年同月と比べて、**17.1%増**
- ・建設業は334人で、前年同月と比べて、**15.2%減**
- ・製造業は860人で、前年同月と比べて、**2.0%増**
- ・医療、福祉は2372人で、前年同月と比べて、**10.1%減**

※奈良労働局「一般職業紹介状況（求人・求職の動き）」
令和6年10月29日（金）公表



12月～1月の求人対策

<正社員・契約社員>

12月は1年間の中で求職者の動きが最も減少すると言われてしています。しかし年末年始の休暇を利用して情報収集を始めたたり、また帰省のタイミングなので「年明けから地元で転職」という方もいます。転職を決断する前に企業情報を見るタイミングとも推測できます。1月～は採用を活発化させる企業も多く、また大手企業の求人も多く掲載されるので潜在的な求職者に対してメッセージを発信するならば、この時期が良いかもしれません。

<パート・アルバイト>

12月は短期バイト募集以外は、クリスマスなどのイベントや年末年始休暇で求職者の動きが鈍化し応募が極端に少なくなる時期です。ですが、1月は早めに進路が決まった学生や、年末年始休暇中に情報収集していた主婦・フリーターが活発に動き始めます。早めに採用することで、シフト調整も余裕をもって進めることができますので、年末年始の繁忙期に採用したい場合は早めに動くとい良いでしょう。

採用のコツ

この時期だからこそ期待できる効果

11月～12月（年末）は求人広告掲載件数が減少するのでライバル（特に大手企業）の求人が少なく発見性が高まるチャンス！普段なら求人広告を掲載しても埋もれてしまい求職者の目になかなかとまらない募集も、全体の掲載件数が減る年末の時期だからこそ発見され、応募獲得に繋がられる可能性があります。

「求職者が減るから」とは言え求職者が0になるわけではありません！

また1月以降は求人企業が一気に増えてくるので先手を取る発信が大切になります。



《オススメプラン》

合同企業説明会 2025年2月（予定）

正社員採用なら

- ・フリーペーパー正社員求人
- ・マイナビ転職
- ・doda
- ・採用支援HP えんと〜り

パート・アルバイト採用なら

- ・フリーペーパー求人
- ・採用支援HP えんと〜り

新卒採用なら

- ・マイナビ新卒
- ・オファーボックス

